

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2001-129171 (P2001-129171A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 15 日 (2001.5.15)
 【出願番号】特願 平 11-311261
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤に形成された遊技領域に配設される遊技部品において、
 該遊技部品は遊技盤に取着するための取付基板を有し、該取付基板に開口部を開設すると共に、該開口部内には、遊技球が入球可能な球受部を形成した球受部材あるいは遊技球が通過可能な球通過部を形成した球通過部材を挿通して設け、前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部を前記取付基板の前面から出入可能とし、さらに、前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部が前記取付基板の前面に突出した状態を保持する保持手段を備え、該保持手段は前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部を手で押入することにより解除されることを特徴とする弾球遊技機の遊技部品。

【請求項 2】

請求項 1 記載の弾球遊技機の遊技部品において、
 前記保持手段は前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部を引出すことにより固定されることを特徴とする弾球遊技機の遊技部品。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0 0 0 8】

【課題を解決するための手段および発明の効果】

本発明は、上記課題に鑑み提案されたもので、請求項 1 記載の弾球遊技機の遊技部品は、遊技盤に形成された遊技領域に配設される遊技部品において、該遊技部品は遊技盤に取着するための取付基板を有し、該取付基板に開口部を開設すると共に、該開口部内には、遊技球が入球可能な球受部を形成した球受部材あるいは遊技球が通過可能な球通過部を形成した球通過部材を挿通して設け、前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部を前記取付基板の前面から出入可能とし、さらに、前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部が前記取付基板の前面に突出した状態を保持する保持手段を備え、該保持手段は前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部を手で押入することにより解除されることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

__前記保持手段は、前記球受部あるいは前記球通過部を手で押入することにより解除できるように構成したので、何ら工具などを必要とすることなく、短時間で釘調整ができるという優れた効果を発揮する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

加えて、請求項2記載の弾球遊技機の遊技部品は、請求項1記載の弾球遊技機の遊技部品において、前記保持手段は前記球受部材の球受部あるいは前記球通過部材の球通過部を引出すことにより固定することを特徴とするものである。